

「信濃教育」目次集

毎号に登載したものの

「口絵」今、教師や子どもは

・本会の動き(前月号)

・インタビュー

・編集後記

〔標題〕	〔著者名〕	〔著者名〕	〔著者名〕
四月(一五七七号)		依田 和太	島田 岳彦
巻頭言「道徳科」元年	人を变える力	石井 明美	石塚 里子
巻頭言 三十年度の出発に当たって思うこと	母の声と口癖	高梨 宏子	中村 三都里
教育会が存在して自主研修の意義を考えたおぼろげ	わたしを支えてくれている人との出会いとい ただいた言葉	吉池 朋子	笑顔になれる言葉たち
平成三十年度 事業計画概要	私を支えるころの風景	高梨 宏子	どんな教師になりたいか
テーマ 私を支える「ことば」	PAK MUNDI PER LINGUAS ハックス・ムンディ・ベルリン・ガス	永嶺 茜	わたしをささえることば
どうこい どうこい	心に残る言葉	黒澤 星路	私をつくる「ことば」
真の勇者たれ	ことばのかたち	黒澤 星路	私の心を奮わせた言葉
自分は悪者になっても	初心を忘れない	菊池 智香	陸上競技は団体競技
同じじゃなくていいんじゃない	子どもからのほんわか言葉・ドキッと言葉	有賀祥太郎	私をつくる「ことば」
衝撃的だったM子さんの言葉	私に心に留めている言葉	松本 清香	一期一会
幹になる言葉	「学び合い」との出会い 心がけていること	武居 和紀	初心忘るべからず…そして一期一会
まつすくに向き合うこと…	私がこたわった一言	越 絵利香	平成二十九年「信濃教育」目次集
	「ありがとう」という言葉に支えられて	小林 双美	
		土屋 栄佑	

五月(一五七八号)	〔著者名〕	〔著者名〕	〔著者名〕
巻頭言 長野県教員育成指標の共有		北澤 裕美	「自分」が集まった学級
巻頭言「学級経営力」は標準装備されているか		山崎 慶太	恩師木下先生との出会い
テーマ 私の「学級づくり」		柳澤 匡	私を育ててくださった先生方との出会い
先生方から教わった「学級づくり」	赤坂 真一	丸山 晃平	夢〜輝く未来に向けて進め!五年二組
担任をしていて思うこと	赤羽 彰吾	久保田陽介	一人一人の子どもに寄り添う
懇談会で安心づくり	宮崎 尚子	スケートへの思い	
足跡を残していく	北村俊太郎	赤沼 陽子	出会いから学ぶこと
「わたしの居場所」と思える学級づくり	金近 倫久	下田 洋平	野球の未来
〜若い先生たちに刺激を受けて〜	大月 美怜	丸山 初恵	おい!雲よ 一種いきいきと 逆側の気持ち
先輩たちの背中を追いかけて	山口 徹	林 崇広	六月(一五七九号)
高校と中学の異校種の担任をして	藤原 一史	高橋ひかり	巻頭言 不即不離の関係
ひらかれた学級を目指して	上原 徹郎	山田 千秋	巻頭言 教師にとっての主な仕事
未来への手紙として	笠井 淳	宮川 啓明	テーマ 私の「授業」
「らしさ」を生かして	森野 真美	折山 智昭	教材研究こそ授業の根本
日々の積み重ねを大切に	佐藤 仁哉	新津 一真	ものが語る授業
生徒とともに進める「学級づくり」	土屋 克明	山崎 聡	子どもの願いや思いを大切に
総合的な学習の時間でつくる学級づくり		山口 真妃	校庭のSAKURAとともに仲間と歩んだ三

「もの」から「こと」へと変容する子ども・教師・地域の学び 安達 仁美
キッズお仕事チャレンジ子どもたちに仕事の魅力伝えます 西村 政和
コミュニティ・スクールが支える九年間の義務教育 龍野 正和

地域から学校へ 学校から地域へ 地域（公民館活動）との協働による学校づくり 青木 辰夫

人と人がつながる学校を目指して 鈴木 康貴
長沼小学校コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」の紹介 長野市立長沼小学校
今実現している二十年前の卒業論文「恩師高橋先生とスクールソーシャルワーカー」 伊藤 尚哲

自立へと誘う 小野光太郎
基本を大切にすること、そして… 下平 健吾

夢真つ最中 小林 祥子
教わる側の気持ちを忘れずに 塚田久美子
価値観の更新 望月 翔太
かつて逃げ出した自分 幅下 慧

おいしい雲よ 五花あざやかに 鋤柄 郁夫
住みやすい世の中にするために 清水 常寿

十月（一五八三号）
巻頭言「わたしたちの道」と「わたしの築くみちしるべ」 特集 第百三十二回 信濃教育会総集会
（小泉上田大会）

総集会スナップ 開会式 後藤 正幸
確かなボトム存在 来賓祝辞 三輪 晋一 花岡 利夫
第二十一回教育研究論文・教育実践賞受賞者一覧（特選・準特選・入選） 学びを問い続けて 佐伯 胖

『教育会の意義や役割を考える』
「信濃教育会の事業に参加・参画して」 飯澤 隆 佐々木哲也 矢口 紘史

閉会式挨拶 村田 茜 西川 仁子 宮下 幹敏
十一月（一五八四号）

巻頭言 問われる人間としての選択 特集 わがふるさとの教育を支えた人々 教育史年表 与良熊太郎
いまこそは与良熊太郎 与良熊太郎研究委員会 佐久教育会

長谷川五作 日本 長谷川五作先生 人物特集編集委員会 更埴教育会

田中高光 公正無私に、地域・教育会のために力を尽くした 田中高光先生 「わがふるさとの教育を支えた人々」 篠原菊彌 自己更新の学力を育むために「教室の改造」を訴えた 篠原菊彌先生 篠原菊彌先生執筆委員会 諏訪教育会

篠原菊彌 徳科「授業改革 杉中 康平

「自己を見つめ、友と関わりながら、広い視野から多面的・多角的に考え、議論する道徳」の時間を目指して 道徳教育研究推進校 飯山市立城南中学校 「チーム一中」としての『道徳科』を目指して 上田市立第一中学校 道徳係会

十二月（一五八五号）

巻頭言「徳育の障壁」 養護書 連続性のある多様な学びの場としての「通級による指導」～通常の学級との学びの連続性に焦点を当てて～ 笹森 洋樹

テーマ 特別支援教育について考える 授業のユニバーサルデザイン化と新学習指導要領 小貫 悟

本人の意思を受け止め、集団参加への意識を高めていく支援について 楠田 真也
授業のユニバーサルデザイン化の成果と課題 中学校の通常学級の取り組み 島脇 謙

通常学級における特別支援教育を考える特別な支援を要する子どもたちが、笑顔で参加できる環境をめざして 荒井 明美

飯山養護学校特別支援教育連携協議会「つながる」 市川由紀子
児童生徒の自立をめざしたインクルーシブ教育システムにおける一人一人の教育的ニーズに応じた支援のあり方（三年次） 信濃教育会

特別支援教育研究調査委員会 小泉上田 上田養護学校 依田 真澄

松本市 芳川小学校 両澤 佳代

一つ一つの出会いを大切に 学級経営で大切にしたいこと 出会えたことに感謝 こんなわたしでいたい みんなでえがお

一ヶ月間の海外留学から 「言葉」と「私」 おいしい雲よ 六 実たわわに 人を恋うる歌

講演記録 生涯学習センター 信濃教育会・生涯学習講座「哲学の道」 『西田幾多郎 生きることと哲学』を読む 宗教 藤田 正勝

一月（一五八六号） 巻頭言「去年今年賞く棒の如きもの」 養護書「特別の教科 道徳」（道徳科）において心掛けたこと 澤田 浩一

テーマ「特別の教科 道徳」を考える 「社会的リテラシー」育成に焦点をおく「道

徳科「授業改革

「自己を見つめ、友と関わりながら、広い視野から多面的・多角的に考え、議論する道徳」の時間を目指して 道徳教育研究推進校 飯山市立城南中学校 「チーム一中」としての『道徳科』を目指して 上田市立第一中学校 道徳係会

道徳を通して自分自身とも向き合っ これまでも これからも 上田市立豊殿小学校 道徳研究グループ 『ちくまの心』に向かう道徳教育 鮫島光太郎

一身上の都合により、卓球します 次世代に伝えていくべきことは何だろう 古川 智基

今も亡きM先生を想うとき 私らしく 教師のやりがいは「出会い」にある

山と私 原点に戻って 白鳥 友樹 嘉部 満 渡邊 佳代

